

皆さまこんにちは。今回は調査課からのメッセージをお届けします。

タイトルで先に言ってしまいましたが、皆さん「中国四国厚生局調査課」と聞いても、その業務内容にピンとくる方はまずいらっしゃらないでしょう。

調査課からのメッセージは、中国四国厚生局の組織説明から始まります。

中国四国厚生局は、その業務として大きく医療、年金、健康福祉、麻薬取締がありますが、その中の医療分野に、指導部門という部門があり、保険医療機関等（医療保険で診療、調剤及び訪問看護が受けられる医療機関、薬局及び訪問看護事業者のことです。）の方々に対し、適正な保険診療や保険調剤を行っていただくよう、健康保険法等の制度周知や個別の指導を実施しています。そして、その指導部門は、指導総括管理官を筆頭に、管理課、医療課、調査課、指導監査課と各県事務所で組織されています。

ここに調査課の名前がありましたね。そう、調査課は中国四国厚生局の指導部門に属する課なのです。

その業務内容として、中国四国厚生局のパンフレットでも紹介している調査課の業務内容から書き抜くと、

- ① 保険医療機関等に関する調査・情報の管理及び分析
- ② 指導部門が保有する情報の公開に係る調整
- ③ 保険医療機関等管理システムの運用及び情報管理

ということになります。

こう書いても、まだ分かりにくいと思いますので、まずは皆さまに最も関係する業務と思われる、②の情報公開、いわゆる「行政文書の開示業務」や、「中国四国厚生局ホームページへの保険医療機関等の情報の掲載」からご説明します。

まずは「行政文書の開示業務」の受付状況をご覧ください。

<指導部門における開示請求の受付状況>

(単位：件)

	鳥取 事務所	島根 事務所	岡山 事務所	指導 監査課 (広島)	山口 事務所	管理課 (本局)	医療課 (本局)	調査課 (本局)	合計
26年度	77	74	92	89	76	5	0	1	414
27年度	42	42	48	53	43	5	0	2	235

調査課では、指導部門に提出される保険医療に関する行政文書の開示請求について、行政文書開示に当たっての審査や局内の関係各所との調整等を行っています。

さらに、開示請求とは別に、中国四国厚生局が開設するホームページに、保険医療機関等から提出される各種届出の状況や、保険医療機関等又は保険医及び保険薬剤師としてそれぞれ指定や登録を受けた状況などの情報を掲載し、毎月これらの情報の更新を行っています。

上記の表でお気付きになった方もいらっしゃるかと思いますが、平成26年度に比べて平成27年度では開示請求件数が大きく減少しています。

この点については、開示請求が多く寄せられる情報に関して、平成 27 年度から中国四国厚生局ホームページへ掲載している保険医療機関等の情報量を増やしたことが要因ではないかと分析しています。



次に、①については、保険医療機関等の保険診療に関して、患者の方や医療関係機関等から指導監査課及び各県事務所へ寄せられた情報の管理、分析を行っており、これら情報は指導部門における保険医療機関等への指導等を行う上で役立っているものです。

また、③については、内向きのお話になります。

保険医療機関等管理システムとは全国の厚生局の指導部門において活用しているシステムのことで、その名のとおり保険医療機関等からの届出情報などを登録しているシステムです。そのシステムの保守管理は厚生労働省本省において行っていますが、調査課は、本省からのシステム運用についての連絡を関係各所へ周知したり、システムの改善要望を本省へ提出したりといった調整業務を行っています。



「どうやら、一般生活にはあまり関係ないようですね。」という声も聞こえてきそうなのですが、、、日本では国民全員が何らかの公的医療保険に加入して保険料を納付し、その代わりいざという時、一部負担金を支払えば自由に医療機関等を選択してその診療や調剤を受けることができるという素晴らしい医療制度があるのはご存じのとおりです。診療や調剤などを行う保険医療機関等にとっても、患者さんからの一部負担金を除いた保険診療や保険調剤の報酬は、各保険者（各公的医療保険の運営者）に請求すれば確実に支払いを受けることができます。

この世界に冠たる日本の国民皆保険制度が安定的に運営され、また健全に維持されていくための一助として、中国四国厚生局指導部門では、冒頭でもお伝えしたような、保険診療を行う保険医療機関等の方々への健康保険制度等の周知を行い、また、指導等の業務を実施することにより、保険診療の質的向上や適正化を図っています。

調査課は、確かに皆さまと直接関わる機会としてはほとんどないかもしれませんが、中国四国厚生局指導部門の縁の下を支える課として機能すべく、業務に励んでいきます。

